

関係者各位

2025年11月5日

PRISM BioLab、大原薬品による PRI-724 の薬物間相互作用に関する 第 I 相臨床試験の症例登録開始を発表

--PRISM BioLab が創製した PRI-724の国内臨床試験が着実に進展--

株式会社 PRISM Biolab (本社:神奈川県藤沢市、以下「PRISM BioLab」) は、このたび、当社が大原薬品工業株式会社(本社:滋賀県甲賀市、以下「大原薬品」) にライセンスした PRI-724/OP-724 (以下「PRI-724」、一般名「ホスセンビビント」) に関して、薬物間相互作用に関する第 I 相臨床試験が開始されましたのでお知らせいたします。

当社と大原薬品は、2018年5月に両社間でPRI-724のライセンス契約を締結し、大原薬品により日本で臨床試験が進められております。このたび、新たな第I相臨床試験として「健康成人男性を対象とした CYP3A 阻害剤によるホスセンビビントの薬物間相互作用試験」(OP-724-003 試験)が開始され、第1症例が登録されました。(jRCT番号: jRCT2031240671)

また、現在進められている第Ⅱ相臨床試験「HCV・HBV 又は NASH に起因する非代償性肝硬変患者を対象としたホスセンビビントの多施設共同プラセボ対照無作為化二重盲検比較試験」(OP-724-002 試験)につきましては治験実施期間が延長されました。(jRCT 番号: jRCT2031230195)

当社は今後も引き続き大原薬品と協力し、PRI-724 を通じて肝疾患治療の新たな選択 肢を提供すべく尽力してまいります。

【PRI-724/OP-724 について】

PRI-724 は株式会社 PRISM BioLab が創製した化合物で、Wnt/ β -カテニンシグナル伝達系の活性化を抑制する CBP/ β -カテニン阻害剤です。2018 年 5 月に大原薬品工業株式会社にがん以外の分野における権利を導出し、同社が開発番号 OP-724 として肝硬変の治療薬を目指して開発を進めています。2023 年 4 月より、HCV(C型肝炎)・HBV(B型肝炎)に加えて MASH(代謝機能障害関連脂肪肝炎、旧名:非アルコール性脂肪肝炎(NASH))に起因する非代償性肝硬変患者を対象とした第 Π 相臨床試験を国内 38 施設で実施中です。なお、PRI-724/OP-724 の一般名は、ホスセンビビントとなります。

【大原薬品工業株式会社について】

大原薬品工業株式会社は「すべては患者さんの立場から 医療の未来のために 信頼の 医薬品を」という理念のもと、品質を重視したジェネリック医薬品の製造販売を基盤 とし、また患者数が少なく生命に直結する疾病をターゲットするオーファンドラッグ の研究・開発に取り組む製薬企業です。新薬開発では、小児がん領域に注力し、2016年には「アーウィナーゼ®」、2021年には「ユニツキシン®」、「メグルダーゼ®」の 3品目の製造販売承認を取得いたしました。肝胆膵の領域にも焦点をあて、内外の革



新的な創薬ベンチャー企業との協働により、アンメットメディカルニーズに挑んでいます。 治療成績の向上や医療環境が大きく変化している現在、治療のみならず、医療の質に影響をおよぼす予防、診断、アフターケアにもイノベーションを活かし、Total Healthcare Solution を提案できる企業を目指しています。

【株式会社 PRISM BioLab について】

PRISM BioLab は、独自に開発した α ヘリックス・ β ターン模倣技術を活用して、低分子化合物によるタンパク質間相互作用(PPI)の制御による創薬を目指している企業です。PRISM BioLab は、従来困難であった細胞内で様々な信号を伝達する PPI を制御する独自のペプチド模倣技術である『PepMetics®』を構築し、がんや線維症分野の臨床パイプラインを創出するとともに、国内外の多数の大手製薬会社と提携してこれまでに無い難病治療薬の創出に取り組んでいます。

【PRISM Biolab 会社概要】

社名 : 株式会社 PRISM BioLab (PRISM BioLab Co., Ltd.)

創業 : 2006 年 11 月

本社所在地 : 神奈川県藤沢市村岡東二丁目 26 番地の 1 湘南アイパーク

事業内容 : 創薬技術開発及び創薬

代表取締役: 竹原 大

U R L : https://prismbiolab.com/ja/

<本件に関するお問い合わせ> 株式会社 PRISM BioLab

Tel: 0466-53-8383

E-mail: info@prismbiolab.com